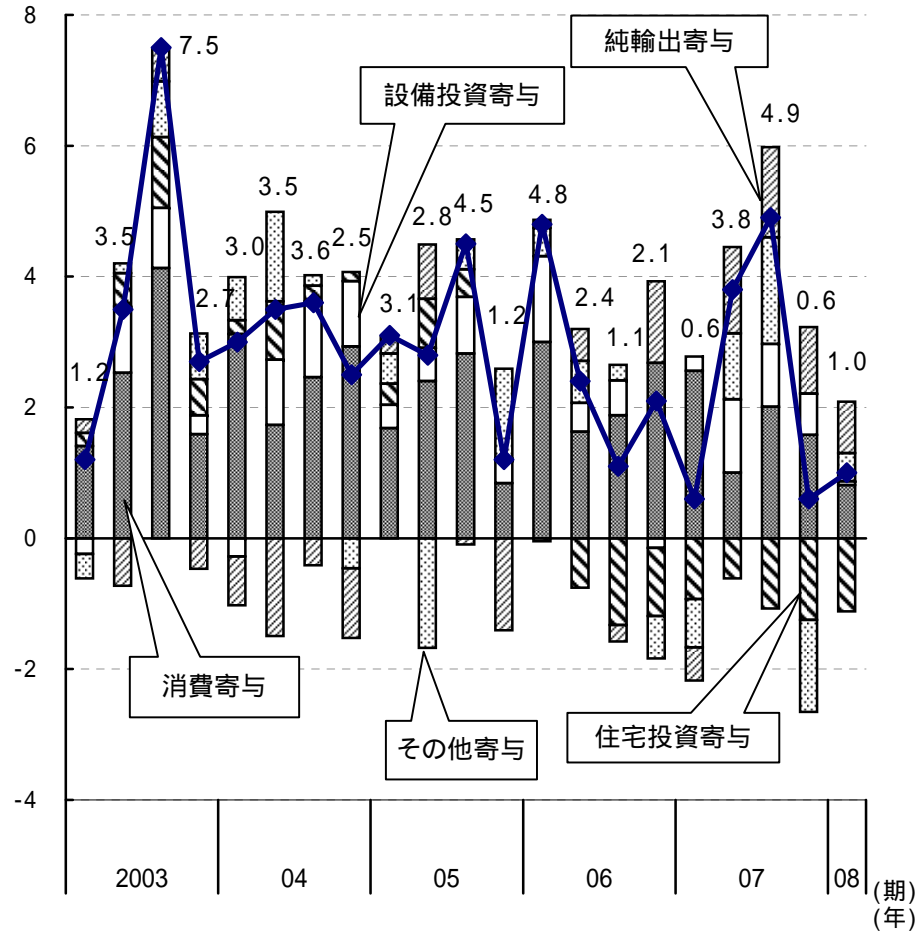


1. アメリカ

景気は弱含んでおり、後退局面入りの懸念がある。

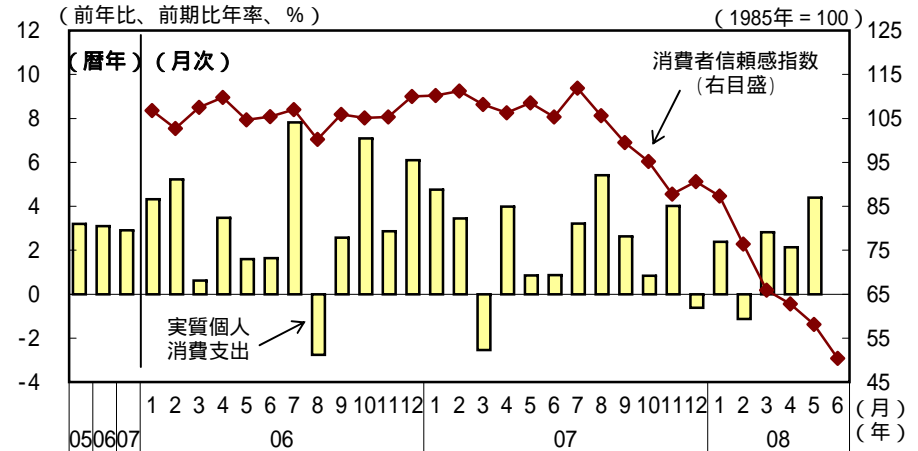
GDP：2008年1-3月期は前期比年率1.0%成長

(前期比年率、%)



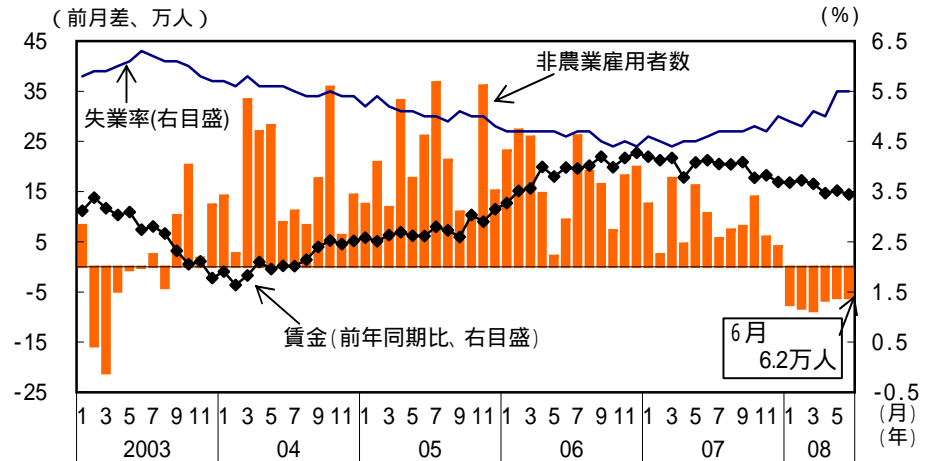
(備考) アメリカ商務省より作成。

消費：消費は戻し減税による可処分所得の増加により、このところ緩やかに増加している。



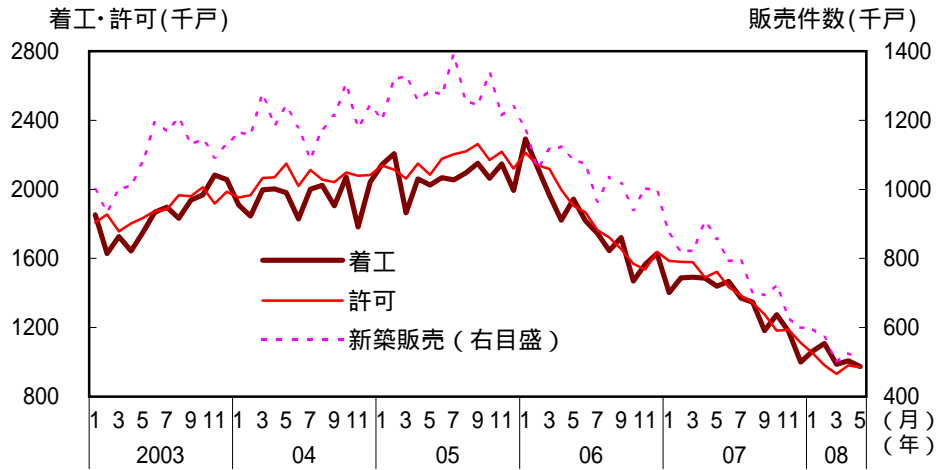
(備考) 1. アメリカ商務省、コンファレンス・ボードより作成。
2. 4月28日から緊急経済対策法による戻し減税(今年度は1,070億ドル)が行われており、7月4日までに860.8億ドルが還付された。

雇用：雇用者数は減少しており、失業率は上昇している。



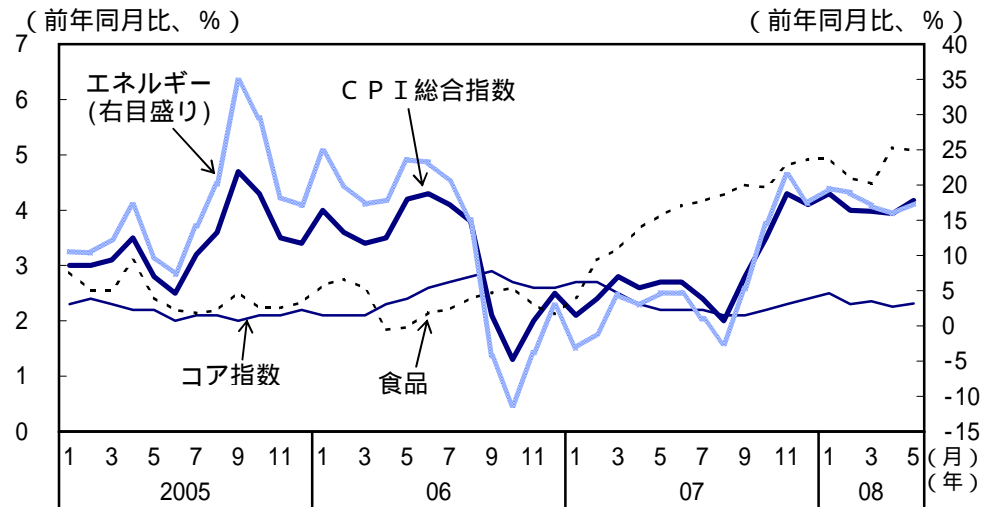
(備考) アメリカ労働省より作成。

住宅:住宅建設は減少している。



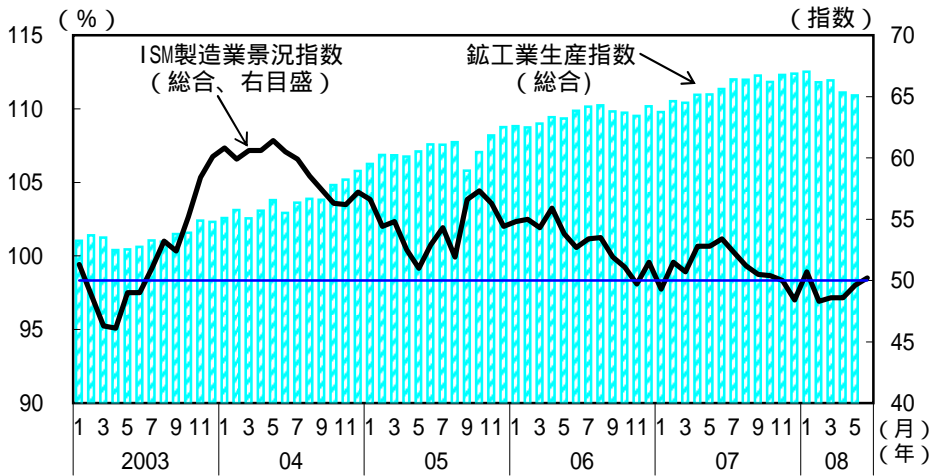
(備考)アメリカ商務省より作成。

物価:エネルギー価格等が上昇しており、コア物価上昇率はやや上昇している。



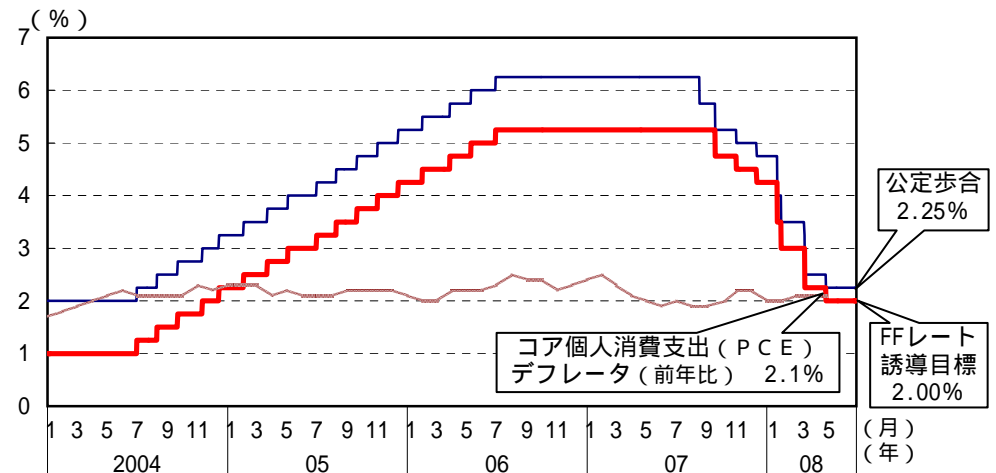
(備考)アメリカ労働省より作成。

生産:生産は緩やかに減少している。



(備考)FRB、全米供給管理協会(ISM)より作成。

金融政策:FFレートは約1年ぶりに据え置き決定[2.00%]



(備考)FRB、アメリカ商務省より作成。